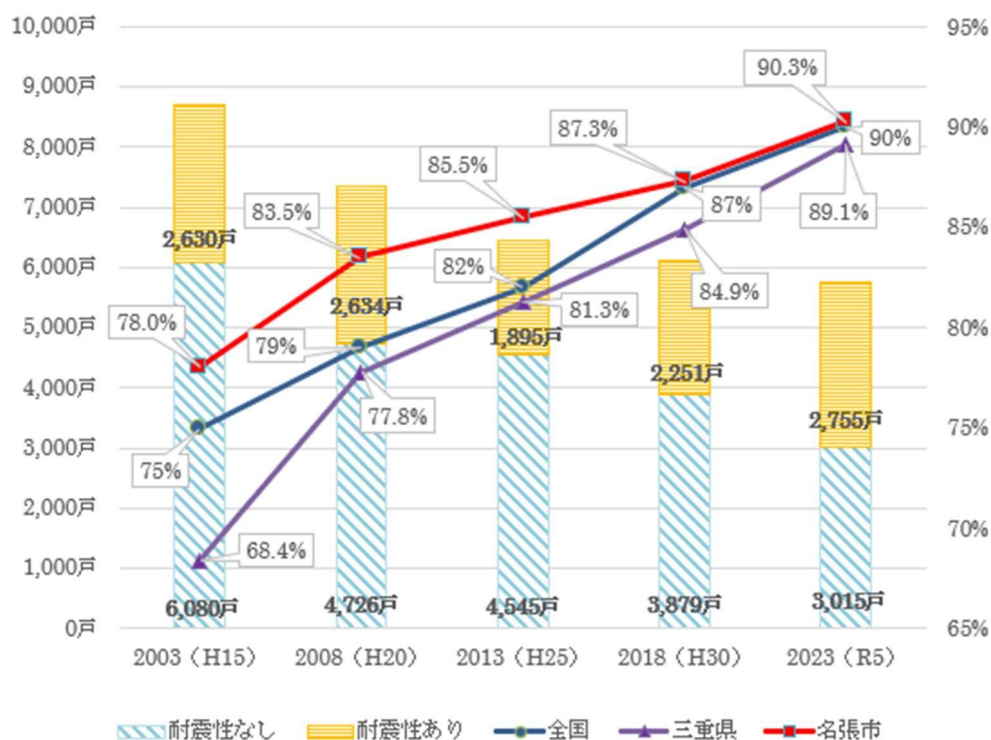


名張市の住宅の耐震化率の現状等について

1. 耐震化率の状況と目標

名張市の住宅耐震化率は、2023（令和5）年度の推計で90.3%となっており、市が目標としていた90%以上を2年前倒しで達成しています。なお、名張市では地域別の耐震化率は算出しておらず、住宅・土地統計調査（総務省統計局調査）などの統計調査結果を基に、市全体の耐震化率を推計しています。

また、名張市の耐震化率を全国（90%）、三重県（89.1%）と比較しますと、三重県平均を上回り、全国平均と同程度の耐震化率となっています。



国において、住宅の耐震化率を2030（令和12）年までに95%、2035（令和17）年までに耐震性が不十分な住宅をおおむね解消することを目標と設定していることから、名張市においても2030（令和12）年度の目標値を95%以上としています。

2. 主な支援と今後の取組

耐震性の確保に向け、①無料耐震診断（専門家を派遣し住宅の安全性を無料で診断）、②耐震改修工事補助（耐震診断の結果に基づき安全性を高める工事費用の一部を補助）、③空き家除却補助（耐震性の無い空き家を除却する費用の一部を補助）、④耐震シェルター設置補助（耐震性の無い住宅で耐震改修が困難な場合に寝室等に避難スペース（シェルター）を設置する費用の一部を補助）の支援を実施しています。

今後も引き続き、国及び県の財源を活用し補助制度の周知を図り、耐震診断や耐震改修、除却を促進し、耐震化の啓発に努めます。また、令和7年度より支援を開始した耐震シェルターについても、引き続き周知啓発を行っていきます。